

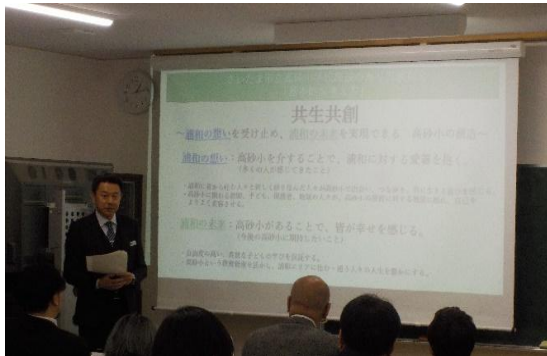


高砂小の子どもたちの声も「未来の高砂小」へ！

1 検討会の声を反映した「未来の高砂小」の姿とは？

第4回検討会は、昨年4月に行われた第1回検討会の協議で決定した、本検討会の基本的な考え方である「共生共創」の内容を再確認するところからスタートしました。

その後、教育委員会が現在進めている高砂小リフレッシュ基本計画についての進捗報告がありました。第2回検討会の協議の際、「検討会の声」として伝えた内容は、教育委員会内で検討が重ねられ、学校施設整備へ反映されるなど工夫が見られました。説明後は、委員からは「子どもの安全を守るために、施設面でどのような工夫があるのか」や、「敷地内における子どもの動線はどのように変わるのか」といった多くの質問が挙がるなど、活気あふれる時間となりました。教育委員会からは、今回検討会にて新たに伝えた声も踏まえた上で、より詳細な部分を決めていく基本設計業務の段階へと進むとの話がありました。今後も、検討会の声をしっかりと発信していきます。



2 子どもたちの意見反映についても、真剣に考えました！

次に、高砂小で学ぶ子どもたちの思いを「未来の高砂小」に反映するために、子どもたちから実際にどのような意見を聴取するべきか、について協議しました。この協議は、本検討会の基本的な考え方の一つとしても挙げられた、「まず、子どもありき」という考え方にに基づき、設けられたものです。

協議は、経歴も立場も異なる委員が3グループに分かれて行われ、様々な案が出ました。

①高砂小には、数多くの卒業記念品や卒業制作が残されており、そうした財産を未来へどう引き継ぐかについて、子どもの声を参考にするのはどうか。

②目に見える物としてだけでなく、高砂小の特別教室や施設のネーミングを子どもに決めてもらうのはどうか。

③低学年の子どもたちの声も活かせるよう、休み時間に使用する校庭遊具の整備を行う際に、実際に使用する子どもたちの意見を参考にするのはどうか。

その他にも、参考となる素晴らしい案が多々ありました。今回挙げられた案を整理し、今後の検討会の場で更に協議を重ねたのちに、来年度在籍する子どもたちから実際に意見聴取する場の準備を進めます。

なお、第5回検討会は5月頃に実施予定です。今まで以上に地域に根差した「未来の高砂小」の実現を目指し、次年度も継続して検討を重ねていきます。



3 編集後記

今年度、本検討会で「未来の高砂小」を創造することができ、高砂小学校の未来だけでなく、地域のこれからを見つめることにつながったと思います。浦和のこれからの街を想像したときに、大きな可能性を感じ、高砂小学校を多様な学習空間や地域コミュニティの核として、魅力や強みをさらに伸ばしていけるようにしたいと思いました。本検討会は来年度にも続きます。今後ともよろしくお願いいたします。

